

3年SGコース、英語でプレゼン Speak Out to the World !

平成29年7月10日午後、3年SGコース生徒にとって研究の集大成となる「Speak Out to the World」を開催しました。これは、各研究グループの研究内容を英語で複数回プレゼンテーションし、優秀チームを決める行事です。審査員には県の国際交流員のマリアさん（スペイン）とローラさん（アメリカ）、宇部高専の長期留学生、アダムさんとラウさん（ともにマレーシア）、短期留学生のチェンさんとヤンさん（ともに台湾）にお願いしました。

第1ラウンドは3会場に分かれ、2チームで対戦しました。各班10分の持ち時間で、英語でのプレゼンと質疑応答を行いましたが、最初はどこのチームも緊張して、声が小さかったり、時間オーバーしたりしていました。

第2ラウンドは勝利したチームと負けたチームでそれぞれ3チームが対戦しました。2度目は緊張も解け、最初より自信をもって発表できました。優勝は「Can Fair Trade Make Yamaguchi and the World a Better Place?」チームでした。講評でも、審査員のマリアさんから、メキメキ上達していった様子を褒めていただきました。また、この日はSGH運営指導委員の方々も参観され、3年間で大きく成長した生徒の評価をいただきました。



2年SGコース、英語で台湾留学生とコミュニケーション！

平成29年7月10日午後、宇部高専に短期留学に来ている台湾聯合大学と文藻外語大学の学生12人とマレーシアの長期留学生2人の計14人を、SGコース2年生14人が迎え、英語でコミュニケーションをとりながら、日本の学校生活や文化を紹介する活動を行いました。7限の総務会役員演説会を一緒に見た後、掃除を一緒にして、近所の松月院というお寺で写経体験等に取り組みました。

最初は緊張していた本校生徒ですが、台湾学生の積極的な声掛けにも助けられて、次第に打ち解けていきました。総務会役員演説会中はホスト生徒が留学生の横に座り、時々解説していました。その時の様子について台湾の学生からは「台湾で見た日本の学園ドラマを思い出し、夢のようだった」と話していました。ホームルームと清掃時には、SGコース以外の生徒も積極的に交流していました。松月院では台湾と日本の交流に関わる住職さんのお話を聞いた後、小石に経文を一字ずつ書いていく写経に取り組みました。最後は、本校正門のケヤキの木の前で記念撮影をして、別れを惜しみました。

こうした交流を通して、SGコースでは英語の実践力を付けるとともに、異文化や日本文化への理解を深めています。

